

医療法人社団 紫苑会 理念 あなたを支えたい、そして笑顔に出会いたい。

平成24年度新入職員

新しい力が当法人に加わりました。今後ともよろしくお願いいたします。



穏やかな春の訪れとともに、
当法人に爽やかな風を運んで来てくれました。
フレッシュな気持ちで一生懸命頑張ります。
可愛がって下さいね。

◆Contents◆

☆平成24年度新入職員紹介

☆広報誌刊行によせて

☆部署のご紹介

☆職員募集のお知らせ

☆いきいきレシピ

☆診療案内

寄稿

「広報誌の発刊によせて」

副理事長 高山 吉弘

法人よりの情報発信の精度・頻度を向上させるため、広報委員会を立ち上げ、各部署からの委員を任命しましたのが、平成23年の下半期でした。ホームページの充実・広報誌の発刊は重要なテーマでした。忙しい実務の合間の時間で委員会は検討を重ねてくれ、懸案であった、ホームページの刷新、病院パンフレットの改訂、広報誌の創刊と幾つもの成果をあげてくれています。

広報誌では新人紹介、法人現在のトピックス、法人の方向性など、職員ならびに地域の皆様へのアピールという視点から情報発信を続けてくれるはずです。この広報誌を皆で大切に育てていきましょう。

ところで、病院・クリニックの実務を統括する役割を理事長より託されている高山は、平成23年2月に着任以来、病院・クリニックをどのようにすれば発展させることができるかを日々考えてきました。高山は、ある組織が成長するには、同じ大きな目標を共有し、その目標に向かって、それぞれの立場でできることを、関連する部署間で調整を行いつつ、果敢に実行することが重要と考えています。各人がそれぞれの能力を同じ方向に向けて発揮することで、エネルギーのベクトルは集まり、個々の努力は相乗的に威力を高め、組織を活性化し、目標に近づくことができると確信しています。この発展への端緒は平成23年度にすでに萌芽が見えてきております。今後も、この広報誌にコラムを設け、法人の目指す方向などを具体的に述べ、発信を続けたいと思っています。

さて、今回は、我々が恐れるべきこと、というテーマをお話したいです。

我々は、「患者・家族」を十分に恐れなければなりません。これは、昨今の医療事故対策という視点から言っているものではありません。患者さんのことを一番心配するのは、ご家族と患者さん本人でしょう。患者・家族は「弱者」として、「思い」を表現することができにくい環境におかれやすいのです。「不満」を発言したいけれど、こんな事を言ったら、そんざいに扱われないかしら、といった心配をしがちなのです。まあ、中には「モンスター」と昨今のマスコミで表現されるような方々もおられますが、主は「無口」な方々なのです。我々、その方々の心の動きを予見し、安らぎと満足を提供できるように努めなければならないのです。この「心の動き」を見逃していないかを恐れなければならないというのが、私の言う、「患者・家族」を十分に恐れなければなりません、という意味なのです。消極的に引いた対応をとれというわけではありません。積極的に関わるなかで、この恐れを忘れてはいけません。

部署のご紹介

訪問看護ステーションふじ

こんにちは。訪問看護ステーションふじです。平成16年6月に「訪問看護室」が開設。翌年2月に「訪問看護ステーションふじ」がスタートしました。小児から高齢者まで、住み慣れた自宅で安心して療養生活を送ることが出来るよう、24時間体制を整えています。

現在は、看護師5名・リハビリ職員4名（兼務）で訪問しています。訪問リハビリは、在宅でご利用者がスムーズに日常生活を過ごす事ができるよう機能訓練や動作の動きの提案等を行っています。またステーション内では、勉強会やカンファレンスを行い連携しております。

訪問看護の対象は、ご利用者本人だけでなくご家族も含まれます。在宅療養では介護者の介護力が必要です。ご家族の在宅環境を考慮しながら、ご利用者・ご家族が受け入れやすい介護方法や工夫等の提案をしています。ご自宅での生活を大切にしながら暮らしを広げながら支援を行う事が重要だと思います。私たちも24時間体制とはいえ、療養されている方を24時間支えているのはご家族です。病状が思わしくなかったり、介護に不安を感じたり、また介護者の健康上の問題に訪問看護師として寄り添い、できる限りの助言をいたします。「在宅で安心して生活できてよかった」という笑顔のためにも、頑張っていきます。在宅療養でお困りな事がありましたら、なんでもお気軽にご相談ください。



看護部

「急性期では味わえないケアの原点がここにはあります」

～私たちは最後まであきらめないリハビリテーション看護に取り組んでいます～

当院は、富士・富士宮地区に初めてできたリハビリテーションを中心とした病院です。入院患者さまは、急性期病院で治療を終えられた脳血管疾患や大腿骨頸部骨折の方が中心です。私たち看護部は、365日、24時間の生活に密着した、食事、清潔、排泄、睡眠などの生活リハビリテーションを担い、一日も早く家庭や職場に復帰できるよう、生活支援重視のケアを行っています。リハビリテーションは多職種（医師、看護職員、リハビリ職員、薬剤師、管理栄養士、社会福祉士等）が共働で患者さまの入院生活を支えています。看護師はチームアプローチを展開しながら、患者さまに統一した、より良い医療、ケアを提供できるようコーディネート役が果たせるよう取り組んでおります。

平成24年度看護部は、より患者さまの情報を大切にさせていただくように固定チームナースの充実を図っていきます。また、患者さまが安心して在宅に戻られるよう地域との連携を強化できるよう取り組んでいきます。また、ケアの質を向上させるため、教育活動に力を入れ、職員一人一人が学べる機会を作っていきます。

いきいきリハビリテーション病院では働き続けられる環境づくりに取り組んでおります。有給休暇とリフレッシュ休暇を合わせて長期間の休みが取れるようスタッフが協力し、心身のリフレッシュを図っています。「お互いさま」の精神で持続して働ける職場を目指しています。

いきいきリハビリテーション病院では潜在看護師さん向けの復職支援プログラムの準備ができております。看護の現場を離れて不安な方や育児で短時間勤務をご希望の方、一度いきいきリハビリテーション病院の見学にいらしてください。あなたのやりたい看護がここにはあるかもしれません。病院理念でもある「あなたを支えたい、そして笑顔に出会いたい」の実現に一緒に取り組みましょう。



職員募集

下記の職種を募集しております。
ぜひ一緒に地域医療を行ってみませんか。



☆看護師・准看護師
☆介護職員
☆言語聴覚士

☆医療ソーシャルワーカー
☆作業療法士
☆薬剤師



～ いきいきレシピ ～

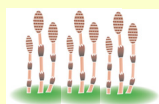
『春野菜とささみの塩麴和え』

春の野菜と流行の塩麴を使ったメニューです。
ヨーグルトが苦手な方は塩麴だけで和えても
OKです。



【材料(2人分)】

菜の花 1束
そら豆 5さや
鶏ささみ 100g
ヨーグルト 大さじ2
塩麴 小さじ1
(おろし生姜 小さじ1/2)



【作り方】

- ①菜の花は塩水で2分ゆで、冷水にとる。
- ②そら豆はさやから外し、外皮をつけたまま塩水で1分30秒ゆで、外皮をはずす。
- ③鶏ささみは筋を取り、塩水で3～4分茹で、一口大に切る。
- ④ボールに①②③を入れ、塩麴とヨーグルトを加え混ぜる。
- ⑤④におろし生姜を入れ混ぜる。

【いきいきリハビリテーション病院 外来予定】リハビリテーション科・整形外科

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	休診
午後	△	○	○	○	○	休診

(△) 月曜日の午後は整形外科外来は休診となります

【田中クリニック 外来予定】内科・循環器科・神経内科・呼吸器内科・消化器科

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	休診	○	休診



ご意見・ご要望・その他お問い合わせは下記までご連絡ください。



医療法人社団 紫苑会

いきいきリハビリテーション病院

〒419-0205 静岡県富士市天間1640-1

TEL 0545-73-1919

FAX 0545-73-1916

フリーダイヤル: 0120-191-719

田中クリニック・田中クリニック健診センター

〒419-0202 静岡県富士市久沢1652-1

TEL 0545-71-0160

FAX 0545-71-0950

URL <http://www.iki-iki-hp.com> E-mail jinji@iki-iki-hp.com